

10/12

文部科学大臣杯受賞の活躍

小学生空手選手表敬訪問



第63回小学生・中学生空手道選手権大会で活躍された(公社)日本空手協会大田原支部の刑部 雅貴 代表および選手6名が市長を表敬訪問しました。小学生低学年女子の部に、栃木県代表として支部から3名出場し、組手が優勝、形が3位と、総合成績が優秀な個人および団体に贈られる文部科学大臣杯を一昨年に引き続き獲得しました。このほか個人の部で6名それぞれが優秀な成績を収めるなど、今後の益々の活躍が期待されます。

10/5

いじめ撲滅を目指して

栃木プロレス表敬訪問



栃木県を拠点に活動するプロレス団体「栃木プロレス」で活躍されている臼井 伸太郎 氏と北村 彰基 氏が市長を表敬訪問しました。栃木プロレスは、小中学校・駅前・ショッピングモールなどで無料観戦できるチャリティーイベントを主事業として活動するとともに「いじめ撲滅」を活動の柱としており、「プロレスの力を信じ、何度でも立ち上がることをメッセージとして伝えたい」と熱い思いを市長に伝えました。

10/27

みどりと共に新しい生活様式へ

家庭緑化用苗木配布会



晴天の下、恒例の苗木配布会を道の駅「那須一の郷」にて開催しました。

当日は、来場された方から緑の募金にご協力いただき、ローズマリー・ブルーベリーの苗をセットにして配布することができました。アフターコロナをローズマリーのアフタヌーンティーでリラックスしてみたいはいかがでしょうか。来年も開催予定ですので、皆さまのご来場をお待ちしております。

10/23

松も冬支度

侍塚古墳こも巻き



二十四節季の一つ「霜降^{そうこう}」に当たるこの日に、侍塚古墳松守会が中心となり、恒例のこも巻きが行われました。

小中一貫教育「雄飛が丘学園」の一環で参加した湯津上地区の小・中学生は、侍塚古墳松守会の会員から、伝統的な「いぼ結び」という結び方を習い、楽しみながら松にこもを巻きました。

巻かれたこもは、翌年3月5日の「啓蛰^{けいちつ}」の日に取り外されます。

10/28

唐辛子で飾りを作ろう

地域おこし協力隊による特別授業開催



完成品

10月21日～28日にかけて、大田原市地域おこし協力隊の虻川 裕 隊員が、西原小学校の3年生4クラスを対象に唐辛子を用いた飾り作りやボードゲーム体験会の授業を行いました。虻川隊員は、日ごろから本市特産品である唐辛子の栽培を通じ市の魅力発信やボードゲームを活用したイベントなどの運営補助の活動を行っています。今回はその経験を活かした授業で、児童たちは唐辛子を通じて地域のことを知り、ボードゲームを全員で行うことで笑顔あふれる授業となりました。

10/28

大田原市屋内温水プールの愛称が決まりました

ネーミングライツ事業



ネーミングライツ事業（愛称を命名できる権利）により、大田原市屋内温水プールの愛称が「フクシ・エンタープライズ大田原温水プール」となりました。（略称：FEP大田原プール）

設置された銘板の前で命名権者でありプールの指定管理者でもある株式会社フクシ・エンタープライズ スポーツ事業本部 鈴木施設長と記念撮影を行いました。命名にあたっては、施設の指定管理者として、社名を冠することで、その責任を果たすという思いが込められています。

市史編さんだより vol.14

今回紹介するのは、今年市内で発見した、独特な形態をもつユニークな虫たちです。

上段の写真は、羽田で5月10日に撮影したキバネツノトンボです。「トンボ」と和名がつけられていますが、触角が長い別のグループに属している虫です。時折、電話で、「これまでに見たことがないヒゲの長いトンボを見たが、新種か珍しい虫ではないか」と質問を受けます。しかし、このような特徴を持つ虫はツノトンボ類以外には考えられず、実物を見ずに名前がわかる数少ない虫の一つです。

中段の写真は、須賀川で6月26日にフジの葉をたべていた、前の脚がエイリアンに例えられる程発達したシャチホコガの幼虫です。静止する時に腹部をそり上げている姿が、お城の天守閣の屋根にのるシャチホコ（鯨）の形に似ているため、この名が付けられています。

下段の写真は、蜂巢の玉藻稻荷神社の近くの水田で8月18日に見つけた、ツチハンミョウ科のマメハンミョウという危険な毒虫です。この虫は、体内にカンタリジンという毒成分を持っており、体液が皮膚などに付着すると水ぶくれとなる危険な生物です。江戸時代、中国から日本に伝わった「本草綱目」という本が翻訳・研究され、漢方医学が発展しました。しかし、この本に書かれていた、毒を持つツチハンミョウ科の「斑猫」を、日本では毒が無い別のハンミョウ科の虫に当てはめてしまいました。この誤りがなければ、ツチハンミョウ科の虫が要人の暗殺などに使われて日本の歴史が変わっていた可能性があります。

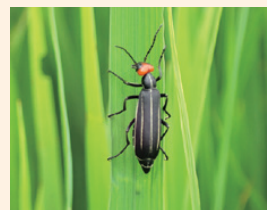
マメハンミョウは、幼虫がイナゴ類の卵などを食べるため、イネにとってはありがたい虫ですが、一方で成虫は大豆の葉などを好んで食べるので、マメにとっては害虫でもあります。（自然部会 高橋 滋）

自然部会調査速報④
～この虫、見たことありますか？～

キバネツノトンボ



シャチホコガ(幼虫)



マメハンミョウ

問文化振興課 本4階
TEL(23)3135